

「地域を支える建設業」検討会議
第49回全体会議
(一社)長野県建設業協会 提出資料

○ 要望事項 資料No.1

- 1 災害に強い安全・安心な県づくりと地域経済の活性化、社会資本整備を
推進するための公共投資について
- 2 働き方改革への取り組みについて
- 3 優良技術者表彰について
- 4 担い手の確保育成について
- 5 高騰する資材価格の速やかな設計価格への反映について

○ 働き方改革実現に関するアンケート調査結果について 資料No.2

○ 青年部会報告について 資料No.3

.....



「地域を支える建設業」検討会議 第 49 回全体会議（R5.8.9）

（一社）長野県建設業協会

○ 要望事項等

1 災害に強い安全・安心な県づくりと地域経済の活性化、社会資本整備を推進するための公共投資について

令和 5 年度の政府予算では、公共事業関係費の総額は、6 兆 600 億円が確保され、国土交通省関係では 5 兆 2,502 億円となり、特に公共事業の中心となる防災・減災、国土強靱化関連予算は、3 兆 9,497 億円が確保されました。一方で、建設業における令和 6 年 4 月からの時間外労働の罰則付き上限規制の適用を来年に控え、働き方改革の着実な進展に向けた取組が喫緊の課題となっております。

また、県の令和 5 年度当初予算は、一般会計の総額 1 兆 456 億円余で、公共事業費（補助・県単独・直轄・災害復旧）は、1,127 億円となり、令和 4 年度 11 月補正予算の公共事業費 449 億円等も加えると、1,653 億円となりました。予算の確保が厳しい中、公共事業予算の確保に対しまして御礼申し上げます。

近年は大規模自然災害が頻発しており、これら自然災害から県民の安全・安心を守るためにも地域建設業の役割は、益々大きなものとなってまいりましたが、今般のコロナ禍、ウクライナ危機や円安等の影響による建設資材等の価格高騰・品薄等により、地域建設業を取り巻く状況は大変厳しくなっております。

地域建設業が働き方改革、生産性向上を進め、将来に亘って地域の安全と安心を守るという社会的使命を果たし、公共工事の品質を確保していくためにも、安定的・持続的な公共事業予算の確保、並びに適正な利潤の確保が図られるようお願いいたします。

2 働き方改革への取り組みについて

令和 6 年 4 月から時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、働き方改革の着実な取り組みが喫緊の課題となっております。

県では「週休 2 日制の普及」に向け工事発注に当たっては、当初から割増の経費補正をして発注されております。

一方、市町村においては、週休 2 日制の普及が進んでいるとは言い難い状況にあると思われますので、県から市町村へ積極的に週休 2 日工事の実施について働きかけていただきますようお願いするとともに、休日が増えても労働者の減収とならないよう、補正係数のさらなる引上げをお願いいたします。

また、冬期の除融雪業務においては、安全で円滑な道路交通を確保するため、上限規制を超えた作業を行なう事も想定されます。労働基準法では「雪害」に該当する場合は上限規制の対象外となりますが、地域の気象条件や各社の状況により様々な業務体制となります。労働局でも上限規制に関するQ & Aを示し規制対象外となる業務を列挙されておりますが、県におかれましても除雪業務の実態について労働局の理解が得られ、時間外労働の上限規制が適切に運用されるようご支援をお願いいたします。

3 優良技術者表彰について

令和4年度の長野県優良技術者表彰が行われ、一般部門で58人、若手部門で15人の技術者の方が栄えある受賞をされました。

この制度につきましては、令和3年7月30日に開催された第43回全体会議と令和4年4月7日に開催された第45回全体会議に於いて、以下の課題を挙げさせていただき制度の見直しとインセンティブ設定の改善をお願いしているところです。

- ① 地域に密着した企業や技術者への評価を反映しにくい。
- ② 企業や技術者の受賞に偏りが生じる。
- ③ 工事の分野、工種により工事成績評定の内訳、基礎点が異なるので公平性が確保されない。
- ④ 管理測点が少ない工事や舗装工事など評定点の満点が低い工事があるので、高い点数を取り易い工事に偏る。
- ⑤ 1社当たりの受賞者数の上限が無く、現場で本当に苦勞した技術者が評価されにくい。
- ⑥ 発注機関の推薦方式の場合には、地域に密着した建設業の観点から、一概に工事評価点のみでは測れない工事を考慮できるが、現在の表彰制度では考慮されていない。

県からは、「制度を実施して課題を見極めて参ります。インセンティブについては検討してまいります。」とのご回答を頂いておりますが、会員からも意見が出ておりますので、継続的に意見交換をしていただきご検討をお願いいたします。

4 担い手の確保育成について

担い手の確保は全産業に共通しての課題ですが、建設業においても若手就業者が減少すると共に高齢化が進行しており深刻かつ喫緊の課題となっています。また、新規高等学校卒業者の建設業求人数は大幅に増加していますが、就職内定者数は平成27年度から減少傾向にあります。

現在、高校再編計画が進んでいますが、建設系の学びの場が少なくなっているうえ、県下には、高等教育として建設系の学問を学ぶ場は、信州大学と長野高等専門学校しかなく、県立の長野県工科短期大学校や南信工科短期大学校には建設系学科がないのが現状です。

災害に強い安全・安心の長野県づくりに貢献したい、長野県の発展に貢献したいという夢や情熱を持った学生の学びの場を確保し、建設業の担い手を確保・育成するためにも、今年度も6月15日に開催いただいたところですが、長野県教育委員会・建設部様との「高校再編計画等に係る意見交換会」を継続的に開催していただきますようお願いいたします。

また、建設技術学園の復活、建設大学校の設立についてご検討いただきますようお願いいたします。

5 高騰する資材価格の速やかな設計価格への反映について

世界経済の影響による、油脂、燃料、骨材、鋼材など建設資材価格の値上がりの影響が多方面に大きな影響を及ぼしています。

発注工事の積算に使う資材単価は、実勢価格を調査して設定されますが、この度、国土交通省において、市場の実態を踏まえた適正な請負代金を設定するためには単価を毎月更新する必要があるとして、地方整備局を通じて都道府県に改善を働きかけるとともに取組状況を追跡調査することになり、長野県におかれましても体制を強化されて対応いただいております。また、契約後の資材価格高騰に対しては、スライド条項の運用や設計変更での適切な対応を図って頂いていることに御礼申し上げます。

しかしながら、スライド条項には1～1.5%の受注者負担割合があります。この負担割合については、経営上最小限度必要な利益まで損なわれることが無いように配慮して定められた率とされておりますが、受注者の適正な利益が圧迫されているため、適正な利益が得られるよう、国において実態調査に基づく受注者負担割合の見直しについての検討が行われるようお願いいたします。



働き方改革実現に関するアンケート調査結果

○ 目的

2024年4月1日から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されます。この問題に対応するため、技術者の働き方の実態を把握し、今後の対応の検討資料とする。

○ 調査対象

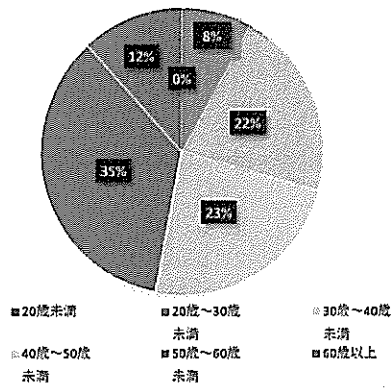
会員企業のうち、理事・監事以上の企業を対象とし、令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)1年間の時間外労働時間が最長の技術者と2番目に長い技術者それぞれ1名について回答していただいた。

○ 回答企業数

51社(100%)

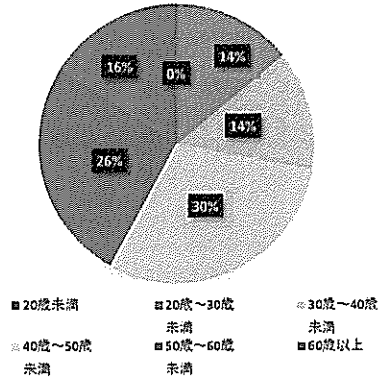
問1 技術者の年齢(令和5年4月1日時点)

時間外労働時間が最長の技術者の年齢



20歳未満	20歳～30歳未満	30歳～40歳未満	40歳～50歳未満	50歳～60歳未満	60歳以上	計
0	4	11	12	18	6	51

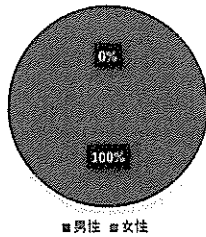
時間外労働時間が2番目に長い技術者の年齢



20歳未満	20歳～30歳未満	30歳～40歳未満	40歳～50歳未満	50歳～60歳未満	60歳以上	計
0	7	7	15	13	8	50

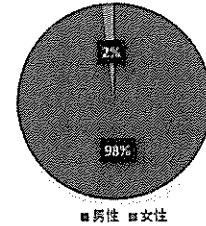
問2 技術者の性別

技術者の性別
(時間外労働が最長の技術者)



男性	女性
51	0

技術者の性別
(時間外労働が2番目に長い技術者)



男性	女性
49	1

問3 令和4年度 1年間の時間外労働時間の合計時間

(1)各社平均時間 (単位:時間)

最長の技術者	2番目に長い技術者
385.2	310.0

- (2)最長の技術者の最大時間、最小時間 最大: 1,069 時間 最小: 16 時間
 (3)2番目に長い技術者の最大時間、最小時間 最大: 1,003 時間 最小: 4 時間

問4 令和4年度 1年間の時間外労働時間が最長の月

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最長の技術者	9	9	10	2	1	3	3	2	2	3	3	3
2番目に長い技術者	5	10	12	3	3	2	3	0	2	3	5	2

人数が最多の月

- (1)最長の技術者 :3月(10人 20%)
 (2)2番目に長い技術者 :3月(12人 24%)

問5 問4で回答した月の時間外労働時間

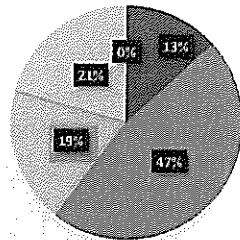
(1)平均時間(単位:時間)

最長の技術者	2番目に長い技術者
60.4	46.9

- (2)最長の技術者の回答した月の最大時間、最小時間 最大: 160時間 最小: 8 時間
 (3)2番目に長い技術者の回答した月の最大時間、最小時間 最大: 129 時間 最小: 1 時間

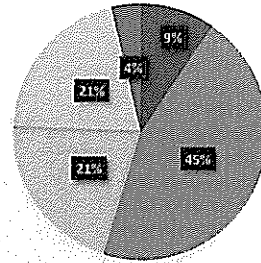
問6 令和4年度(R4.4月~5年.3月)1年間で主に担当した工事の発注者

令和4年度主に担当した工事の発注者(最長の技術者)



■国土交通省 ■長野県 ■市町村 ■民間事業者 ■その他・個人

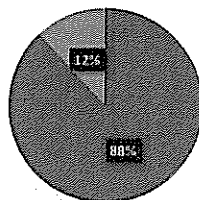
令和4年度主に担当した工事の発注者(2番目に長い技術者)



■国土交通省 ■長野県 ■市町村 ■民間事業者 ■その他・個人

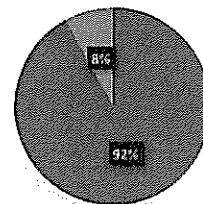
問7 問6で回答した主たる工事の実施形態

主たる工事の実施形態(最長の技術者)



■元請 ■下請

主たる工事の実施形態(2番目に長い技術者)

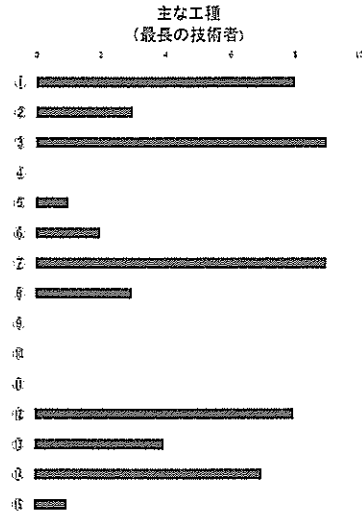


■元請 ■下請

問8 問6で回答した工事の主な工種

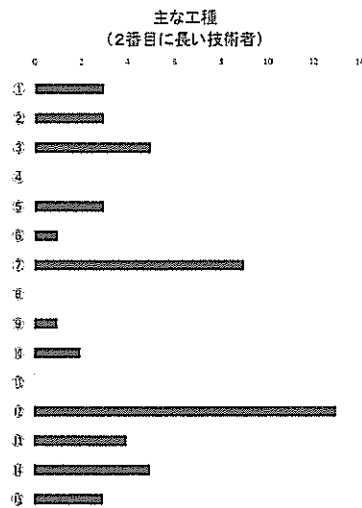
(1) 時間外労働が最長の技術者

	工種	人数
①	河川工事	8
②	道路新設工事	3
③	道路拡幅改良工事	9
④	無電柱化工事	0
⑤	橋梁工事(上部、下部)	1
⑥	橋梁補修工事	2
⑦	砂防・地すべり工事	9
⑧	舗装補修工事	3
⑨	舗装新設工事	0
⑩	農業土木工事・森林保全工事	0
⑪	圃地造成工事	0
⑫	建築・新築工事	8
⑬	建築・補修・補強工事	4
⑭	除染業務	7
⑮	その他	1
	計	55



(2) 時間外労働が2番目に長い技術者

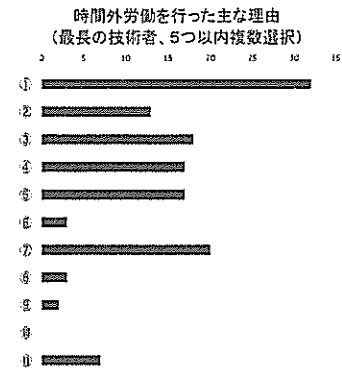
	工種	人数
①	河川工事	3
②	道路新設工事	3
③	道路拡幅改良工事	5
④	無電柱化工事	0
⑤	橋梁工事(上部、下部)	3
⑥	橋梁補修工事	1
⑦	砂防・地すべり工事	9
⑧	舗装補修工事	0
⑨	舗装新設工事	1
⑩	農業土木工事・森林保全工事	2
⑪	圃地造成工事	0
⑫	建築・新築工事	13
⑬	建築・補修・補強工事	4
⑭	除染業務	5
⑮	その他	3
	計	52



問9 令和4年度を通じて、時間外労働を行った主な理由(5つ以内複数選択)

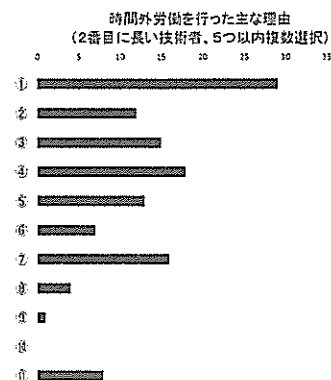
(選択数)

①	発注者向け書類の業務が多い	32
②	本来、発注者で行うべき資料作成等の業務が多い	13
③	当初契約の工期が厳しい	18
④	配置する人員が少ない	17
⑤	緊急な対応が多い	17
⑥	社内書類等の事務処理業務が多い	3
⑦	現場の性格上、早出・残業する必要がある	20
⑧	外注会社、協力会社に管理能力がない	3
⑨	残業手当をあてにした生活設計をしている	2
⑩	残業していない	0
⑪	その他	7



(選択数)

①	発注者向け書類の業務が多い	29
②	本来、発注者で行うべき資料作成等の業務が多い	12
③	当初契約の工期が厳しい	15
④	配置する人員が少ない	18
⑤	緊急な対応が多い	13
⑥	社内書類等の事務処理業務が多い	7
⑦	現場の性格上、早出・残業する必要がある	16
⑧	外注会社、協力会社に管理能力がない	4
⑨	残業手当をあてにした生活設計をしている	1
⑩	残業していない	0
⑪	その他	8



問10 技術者の時間外労働を減少させるための方法について自由なご意見

意見総数:33

第1分類:土木系、建築系、共通 第2分類:書類系、作業系、その他

土木・書類系	6	・竣工提出書類の削減は大分進んでいるが、竣工検査時の提出書類が多いと思う。
		・業務分担(技術者でないとできない仕事か?例建設ディレクター等含むバックオフィスからの業務支援とその育成)
		・書類の簡素化・設計図書の正確性の確保・一年間の工事発注量の平準化
		・昼間は現場で作業を管理し夕方以降書類の作成をする為残業時間が増えた。さらに現場が河川上流の山合の奥地なので通勤にも時間がかかった。書類の更なる簡素化と通勤時間の工夫が必要かと思う。
		・書類の簡素化、優良技術者表彰の取りやめ、または入札のインセンティブをなくす
土木・作業系	5	・基本的には時間外労働をしないで時間内に書類等も行うようにしています。現場書類も日々できるものはその日の内に作成し、竣工間際は何か事務所で書類作成を行います。
		・発注時の条件として、工事規模内容等により技術者の配置人数を限定し公募する。それに見合った現場管理費の率計上をしていただく。
		・現場への移動回数を減らす
		・除雪については災害等を避けるため、臨時的な対応が多く、時間外労働が多くなります。労働基準法第33条の柔軟な運用を希望します。
		・技術職員を増やすことで作業の分担は可能であるが、工事受注が補償されない中では困難な状況。
土木・その他	1	・当社の場合は除雪が時間外労働の100%の為、現状は対応せざるを得ない状況があります。各発注者の災害基準を超える降雪が発生した時点で災害発令をして、発注者自らが33条対応への相談をしていただくことが最短ではないでしょうか。しかし、こうして文書化記載すると人材豊富な交代要員確保企業が仕事を独占して地方経済は崩壊
建築・作業系	2	・適正配置(仕事が遅い人が前工程の場合、全体が遅れる)
		・特に民間工事においては、土曜日勤務をしなければならない工期設定、及び予算設定である。下請け業者や一人親方などの職人さんも週休2日にしないと、元請は必然的に時間外労働が増える。発注者側の上流過程の意識が変わらなければ、時間外労働の時間短縮は難しい。
建築・その他	2	・民間工事(建築工事)に対しても、残業がかからないように指導をお願いいたします。
		・民間工事の場合、設計事務所、発注者側に残業時間に対する意識が無く、我々請負人は要求に従わざるを得ないことが多い。
共通・作業系	4	・属人的な業務が立て込むと、どうしても一人の技術者に業務が集中してしまう。技術者のスキルを全体にアップし、特定の人に業務が集中しないような取り組みが必要。
		・下請(一人親方)と休みの調整が取れない。契約の処遇の改善が必要であり、最低制限価格の底上げが大前提
		・特化した職人のマンパワーが少なく時間内調整が難しい。
		・1日の仕事の予定と振り返り(精査とやらない・やる必要のない仕事の洗い出し) ・目的が不明確なので無駄を省けない
共通・書類系	6	・紙ベースの書類とデータベースの書類の混在を無くす
		・竣工書類の簡素化
		・書類の簡素化・土日祝の完全休業工事の発注・下請け企業への周知指導
		・書類の更なる積極的な簡素化。・発注者側の協議回答の早期化。
		・提出書類の簡素化
共通・その他	7	・書類の簡素化 ・設計変更についての検討、図面作成
		・会社としては時間外労働を最小限に留め、自分の時間を作ってもらいたいと考え、人員配置等も考慮し職員に対しては勤務状況を見ながら個別に指導している。
		・勤務状況をほほリアルタイムで把握するためのツールとして、建設業に特化した勤怠管理システムを検討する。
		・最低落札基準価格の引き上げ(業務分業化のための人員増員のため) ・地元住民との協議
		・休日出勤届を提出させる。残業届を明記させる。
		・予定価格、設計価格を10~15%上昇させる、そしてゆとりある適正工期とする。
		・弊社では技術者が減っている中ではあるが、一現場に2名の技術者を配置し、現場担当と書類担当に、残業と休日出勤を極力減らしている。
・本年は、時間外労働を昨年に比べ削減しています。		
・技術者を「現場施工担当」と「発注官庁との打合せ、書類作成担当」にわけて2人体制にする。また、そのための現場管理費の割増をしていただきたい。また、現場を効率よく進めるためにも発注者のワンデイレスポンスを徹底していただきたい。		

中学生「職場体験学習・防災学習」報告書

1. 安曇野市 明科中学 資料 1
2. 中野市 高社中学校 資料 2
3. 中野市 中野平中学校 . . 資料 3

一般社団法人 長野県建設業協会
青年部会



明科中学校 「職場体験学習」 スケジュール

場 所 安曇野市明科中学校

日 時 令和 5年 5月 16日 火曜日

講 習 時 間

5時限目	14:00	～	14:50
休憩	14:50	～	15:00
6時限目	15:00	～	16:00

対象者 中学2年生 2クラス : 45名

参加者 長野県建設業協会5名・安曇野支部6名・松筑支部1名・新建新聞社1名
安曇野建設事務所6名

進行スケジュール

総合進行：大月特任理事

1, 開始の挨拶

・開始挨拶	藏谷部会長	14:00～14:03
・自己紹介 参加者	大月特任理事	14:03～14:08

2, 第1部（視聴覚講習）

・冒頭あいさつ	大野副部会長	14:08～14:10
・建設業の底力「台風19号被災ドキュメント」DVD	村山幹事	14:10～14:25
・建設業の仕事PPT	村山幹事	14:25～14:35
・建設業の仕事「現場で働く女性たち」DVD	安曇野支部女性部 本部猿田部会員	14:35～14:50

（ 休 憩 ）

14:50～15:00

3, 第2部（体験学習）

各ブース約12分 15:00～15:50

①360度カメラ体験	酒井編集長・武田副・大野副・安曇野支部4名
②土石流模型実演	安曇野建設事務所
③ドローン実演	村山幹事
④除雪機械乗車体験	安曇野建設事務所

4, 質疑応答 アンケート依頼

村山幹事 15:50～15:58

5, 終了の挨拶

安曇野支部支部長 降幡真 15:58～16:00

6, 生徒代表の挨拶

安曇野市 明科中学校「職場体験学習」報告書

場 所 安曇野市 明科中学校

日 時 令和 5年 5月16日 火曜日

講習時間 生徒授業時間 5時間目授業 14:00 ~ 14:50

休 憩 14:45 ~ 14:55

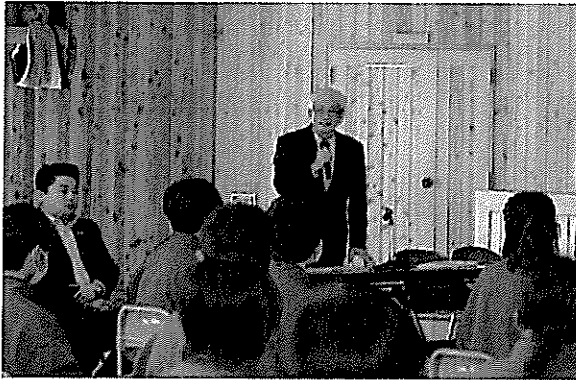
生徒授業時間 6時間目授業 15:00 ~ 16:00

対 象 者 中学2年生 2クラス：45名

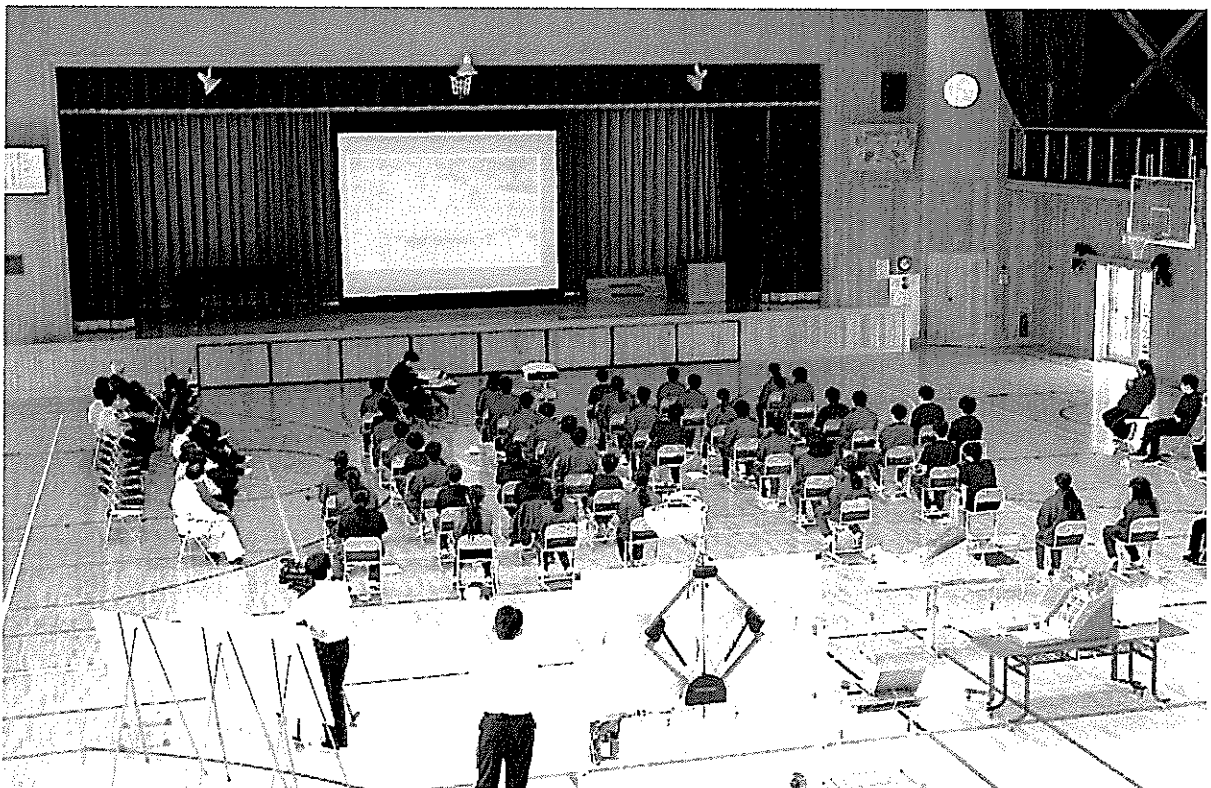
●進行スケジュール

総合進行：大月特任理事

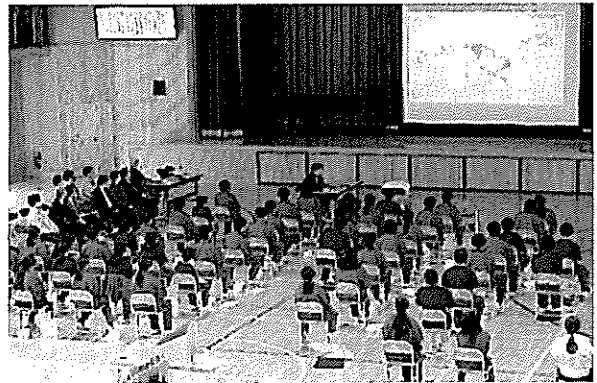
◆第1部（視聴覚講習）



長野県建設業協会主催・長野県建設部安曇野建設事務所共済参加者紹介後、建設業協会青年部会長より企画説明を兼ねた挨拶を行う。



AI 音声・アニメを使用した新バージョンでの建設業冒頭説明後「台風19号被災ドキュメントDVD」を視聴、アニメを利用した「家康」の治水事業、江戸の町構築と現代の建設業をマッチングさせた土木・建築の説明を行う。



安曇野支部猿田女性部会長から現場で活躍する女性の姿を紹介し「現場で働く女性たち」DVDを全生徒が視聴する。

◆第2部（体験学習）各ブースを4組に分けそれぞれのブースにて体験学習を行う

① 360度カメラ体験

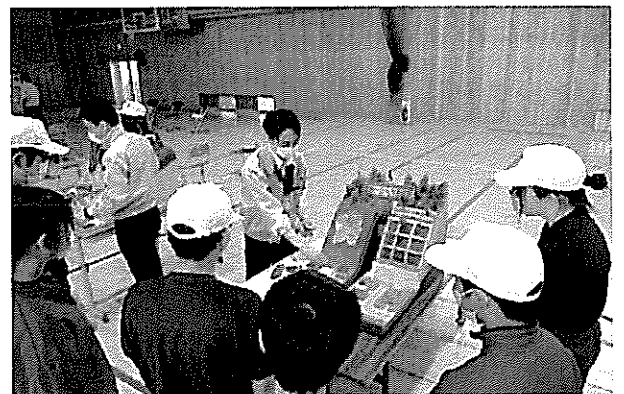


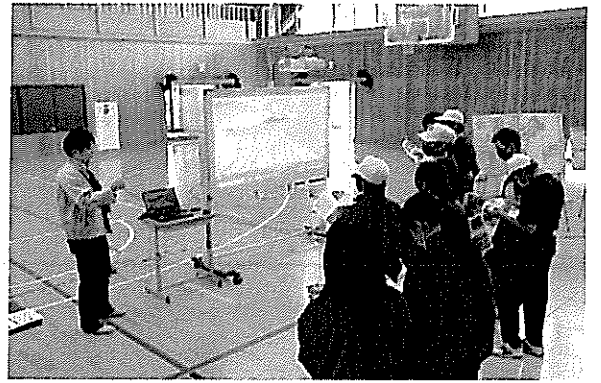
360度カメラで撮影した映像（無人化機械動画）をタブレットを利用して再現、メダリスト2を利用し視聴している生徒の内容が正面のスクリーンに映し出される。

建設業の技術進化に生徒、先生達は夢中で視聴する。

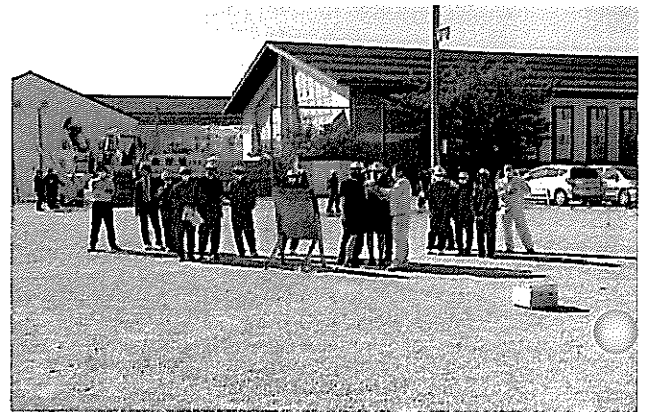


②土石流模型実験：がけ崩れ体験：三次元映像：ハザードマップ説明





③屋外研修 ドローン実演



屋内研修で3次元映像見たのちドローン実演での目的を説明

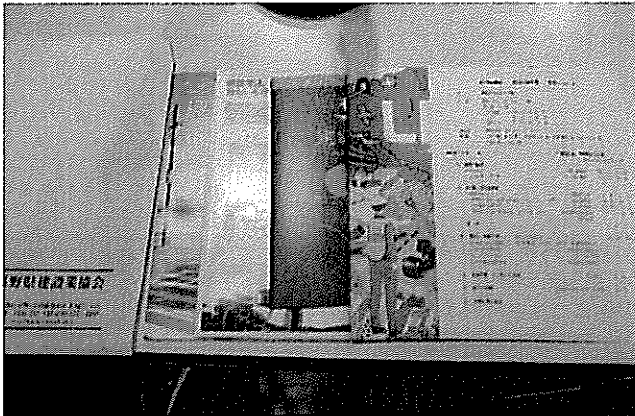
④除雪機械試乗体験





建設業の仕事で除雪も建設業の皆さんが実施している事も多くの生徒が知らない、除雪機械のロータリー除雪機は大きさに驚き体験試乗で女性でも出来るDVD学習後体験なので女生徒も興味を示す。

生徒、先生への配布資料



終了の挨拶を長野県建設業協会 降幡安曇野支部長が行い終了する。





「職場体験学習・防災学習」スケジュール

学 校 中野市立 高社中学校
 場 所 中野市立 高社中学校体育館
 日 時 令和5年5月26日(金)
 5時間目 13:35～14:25
 6時間目 14:35～15:25
 参加者 2年生 65名(2クラス)

●進行スケジュール

総合進行：大月特任理事

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <p>1. 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始挨拶 ・参加者紹介 建設業協会役員、青年部会、女性部会、中高支部、
新建新聞社 長野県建設部：技術管理室、河川課、北信建設事務所 | <p>13:35～13:42</p> |
| <p>2. 第1部(視聴覚講習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭あいさつ ・建設業の底力「台風19号被災ドキュメント」 ・建設業の仕事「土木・建築の説明」 ・建設業の仕事「現場で働く女性たち」 <p style="text-align: center;">(休 憩)</p> | <p>13:42～14:25</p> <p>14:25～14:35</p> |
| <p>3. 第2部(体験講習)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 360度カメラVR体験 2) 土石流模型実演 3) 液状化現象模型実演 4) 河川クイズ 5) 耐震構造模型体験 6) 除雪機械乗車体験 7) ドローン実演 | <p>14:35～15:15</p> |
| <p>4. 閉 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答(アンケートのお願い) ・終了挨拶 | <p>15:15～15:25</p> |

中野市立 高社中学校「職場体験学習」報告書

場 所 中野市 高社中学校

日 時 令和 5年 5月26日(金曜日)

講習時間 生徒授業時間 5時間目授業 13:35 ~ 14:25

休 憩 14:25 ~ 14:35

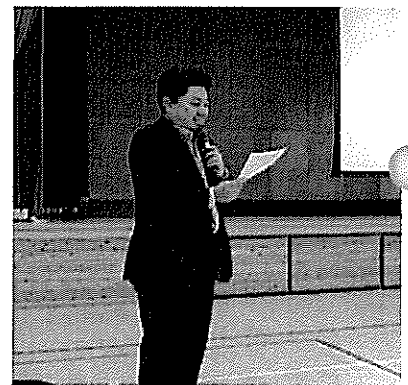
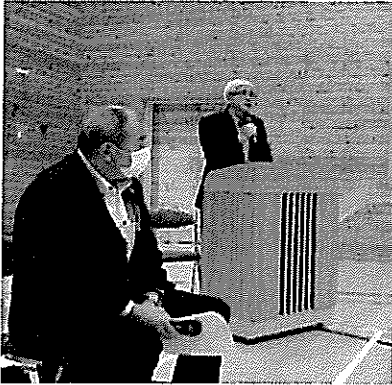
生徒授業時間 6時間目授業 14:35 ~ 15:25

対 象 者 中学2年生 2クラス:65名

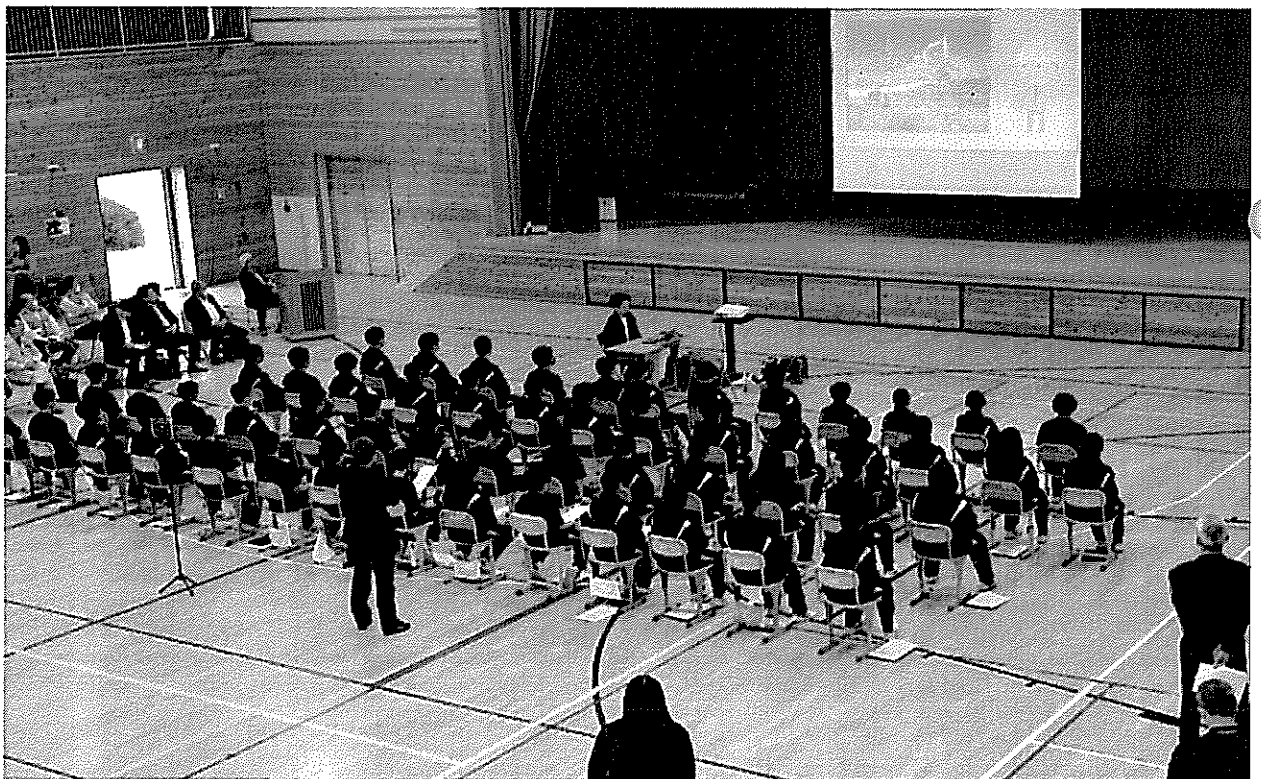
●進行スケジュール

総合進行:大月特任理事

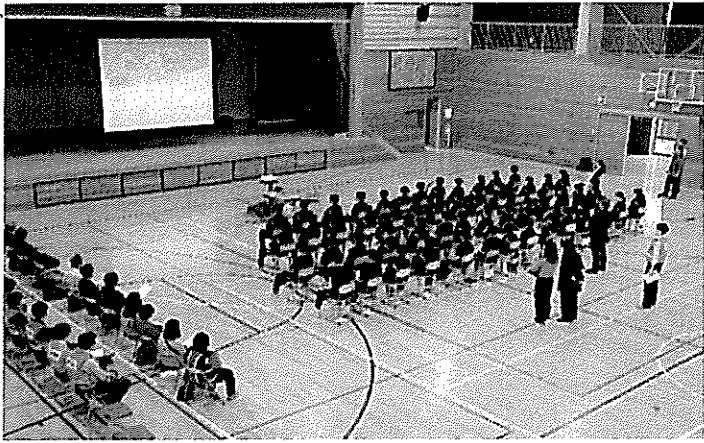
◆第1部(視聴覚講習)



長野県建設業協会主催・長野県建設部及び北信建設事務所の共済参加者紹介後、建設業協会中高支部下田支部長他青年部・女性部紹介後、福原副会長・藏谷青年部会長より企画説明を兼ねた挨拶を行う。



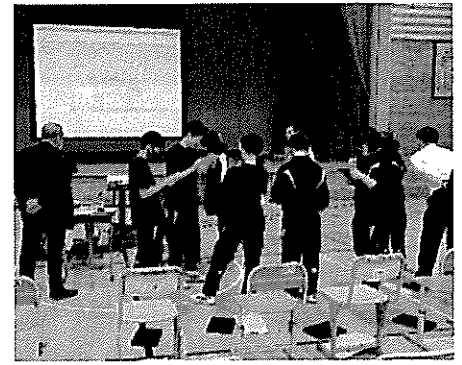
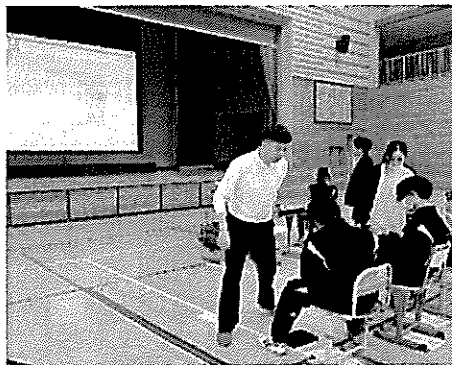
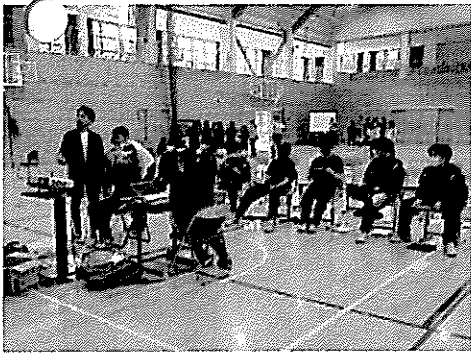
AI 音声・アニメを使用した新バージョンでの建設業冒頭説明後「台風19号被災ドキュメントDVD」を視聴、アニメを利用した「家康」の治水事業、江戸の町構築と現代の建設業をマッチングさせた土木建築の説明を行い生徒に分かり易い内容に生徒も参加頂いた小山校長他先生達、市教育委員会方にも好評。



続いて、現場で活躍する女性の姿を纏めたDVD視聴、続いて技術者・技能者等の職種説明を実施し第1部を終了する、中高支部より荒井女性部会長他3名の女性部会員も参加頂く。

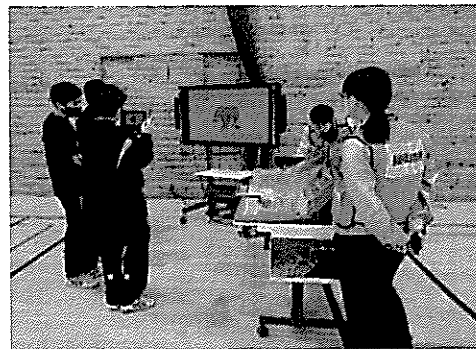
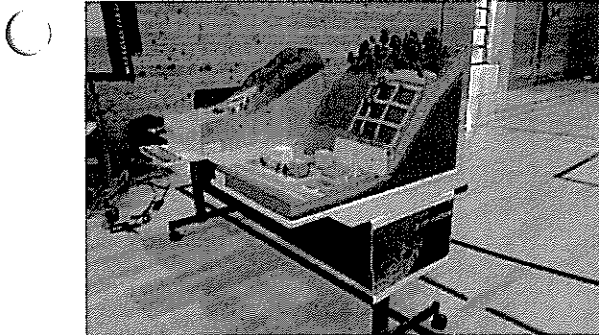
◆第2部（体験学習）各ブースを4組に分けそれぞれのブースにて体験学習を行う

① 360度カメラ体験

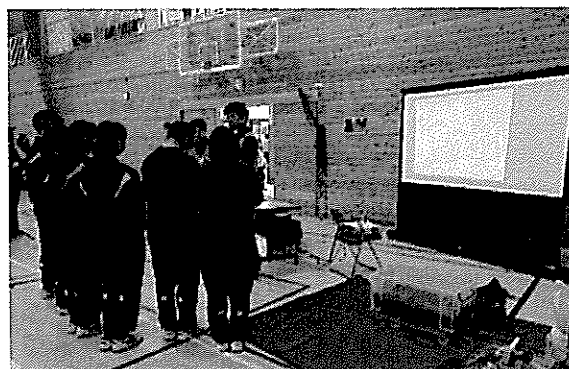
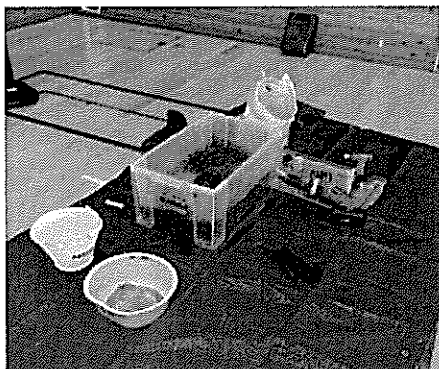


360度カメラで撮影した映像（無人化機械動画）をタブレットを利用して再現、メダリスト2を利用し視聴している生徒の内容が正面のスクリーンに映し出される、無人化機械等の視聴体験に建設業の技術進化に生徒、先生達は夢中で視聴体験する。

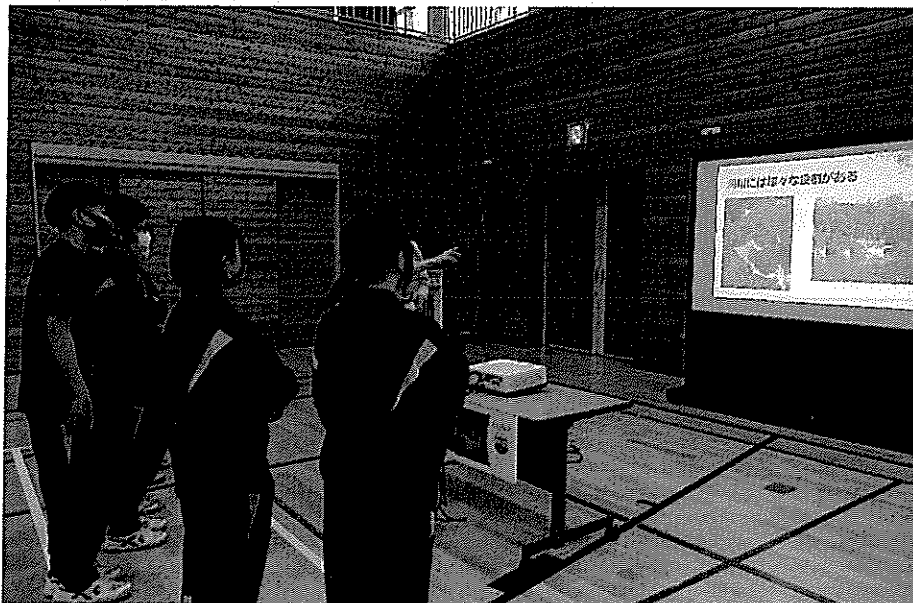
②土石流模型実験：がけ崩れ体験（北信建設事務所の方々による説明）



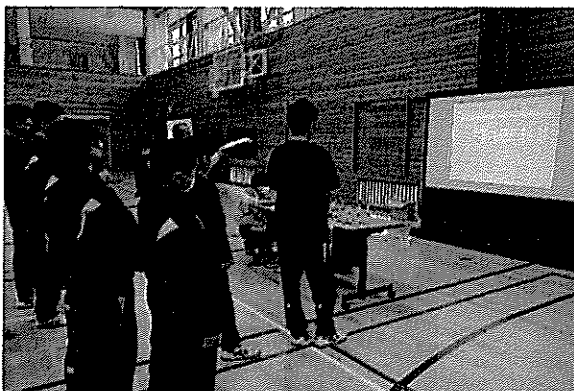
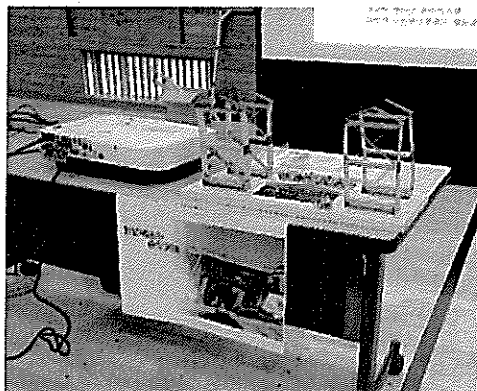
③液状化現象模型実験



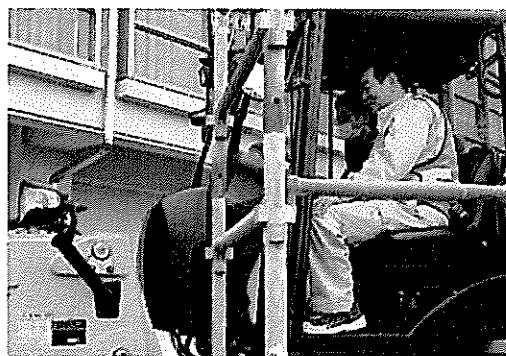
④河川クイズ（長野県河川課の方々）



⑤耐震構造模型体験（北信建設事務所の方々）



⑥除雪機械乗車体験（中高支部：下田支部長・青年部担当）

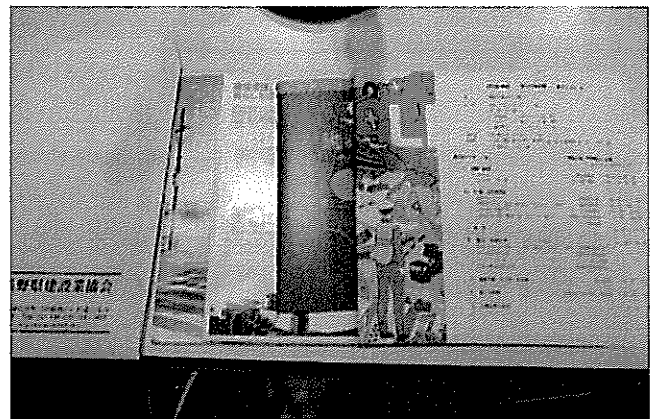


③屋外研修 ドローン実演



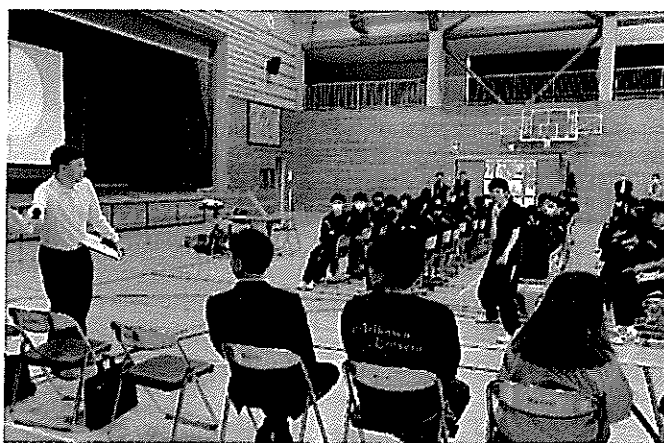
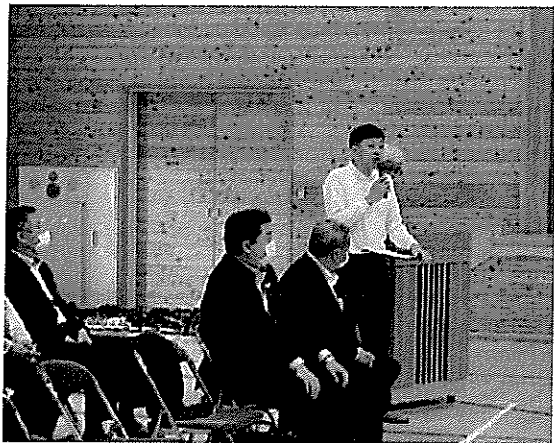
建設業の仕事で除雪も建設業の皆さんが実施している事も多くの生徒が知らない、実物の除雪機械乗車でタイヤドーザー、ロータリー除雪機は大きさに驚き、女性でも出来るDVD学習後の試乗体験に女生徒も興味を示し運転席で稼働する初体験に除雪作業を理解していただける。

生徒、先生への配布資料



人集めのイベント事業でなく、まず建設業の役割、「地域の守りて」として活躍する姿、インフラ整備（土木・建築）、一般住宅、災害対応、除雪、多分野に渡り自分に見合う職業選択があり、地域の人命資産を守るなくてはならない仕事を先生、生徒に幅広く伝える重要性を「職場体験学習」を通じ感じる。

◆武田副部長から質疑応答・アンケートの依頼



質疑応答で生徒とやり取りする！

◆共催側代表で北信建設事務所 関 所長より自分の体験を生かした建設業の魅力を子供たちに熱く語る



「職場体験学習・防災学習」スケジュール

学 校 中野市立 中野平中学校
 場 所 中野市立 中野平中学校体育館
 日 時 令和5年5月29日(月)
 5時間目 13:45～14:35
 6時間目 14:45～15:35
 参 加 者 2年生100名(3クラス)

●進行スケジュール

総合進行：大月特任理事

1. 開会 13:45～13:52
- ・開始挨拶
 - ・参加者紹介
 - 建設業協会役員、青年部会、女性部会、中高支部
 - 新建新聞社
 - 長野県建設部：技術管理室、河川課、北信建設事務所
2. 第1部（視聴覚講習） 13:52～14:35
- ・冒頭あいさつ
 - ・建設業の底力「台風19号被災ドキュメント」
 - ・建設業の仕事「土木・建築の説明」
 - ・建設業の仕事「現場で働く女性たち」
- （ 休 憩 ） 14:35～14:45
3. 第2部（体験講習） 14:45～15:25
- 1) 360度カメラVR体験
 - 2) 土石流模型実演
 - 3) 液状化現象模型実演
 - 4) 河川クイズ
 - 5) 耐震構造模型体験
 - 6) 除雪機械乗車体験
 - 7) ドローン実演
4. 閉会 15:25～15:35
- ・質疑応答（アンケートのお願い）
 - ・終了挨拶

中野市立 中野平中学校「職場体験学習」報告書

場 所 中野市 中野平中学校

日 時 令和 5年 5月26日(金曜日)

講習時間 生徒授業時間 5時間目授業 13:45 ~ 14:35

休 憩 14:35 ~ 14:45

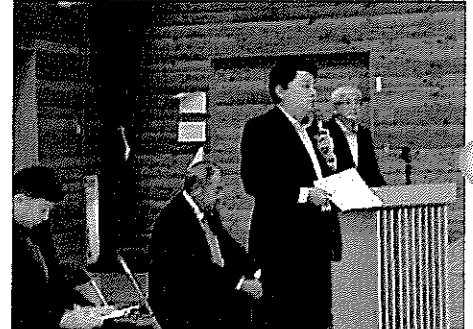
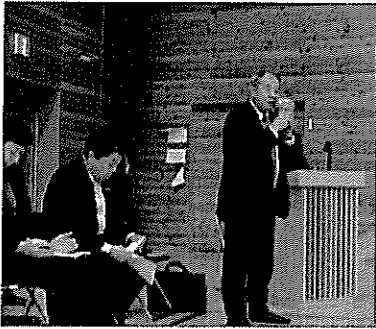
生徒授業時間 6時間目授業 14:45 ~ 15:35

対 象 者 中学2年生 2クラス:65名

●進行スケジュール

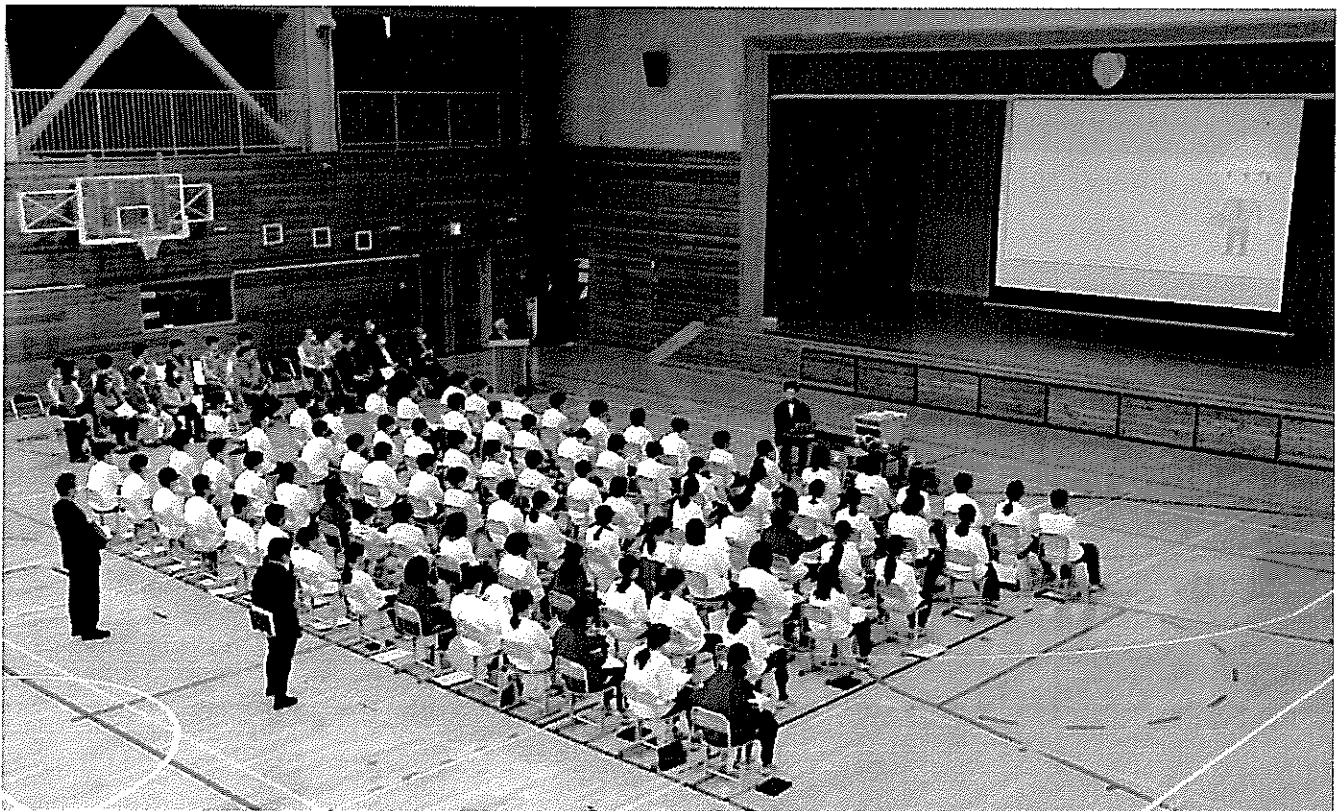
総合進行：大月特任理事

◆第1部（視聴覚講習）



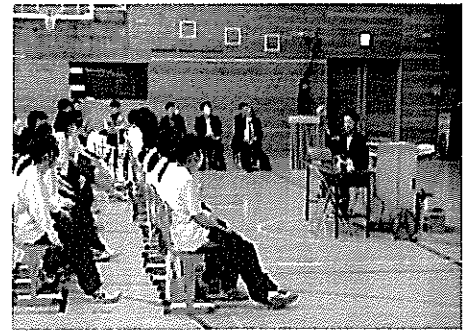
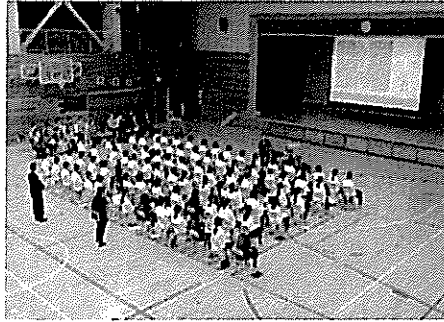
長野県建設業協会主催・長野県建設部及び北信建設事務所の共催参加者紹介後、建設業協会中高支部の下田支部長他青年部・女性部の紹介は講習時間厳守するため総合進行より行う。

その後 福原副会長・藏谷青年部会長より企画説明を兼ねた挨拶を行う。



今日は取材に地元ローカル新聞、北信ローカル及びテレビ北信ケーブルビジョン（株）が入る。

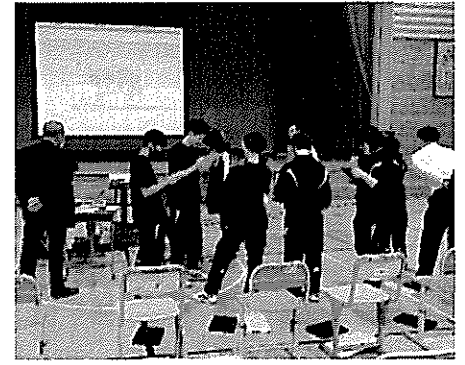
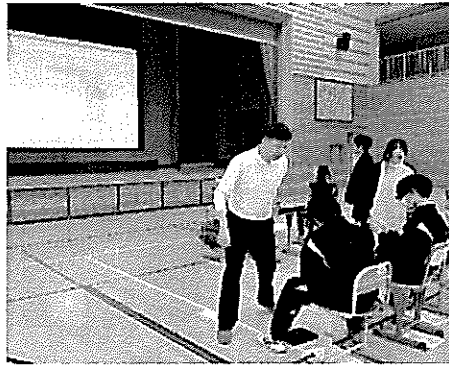
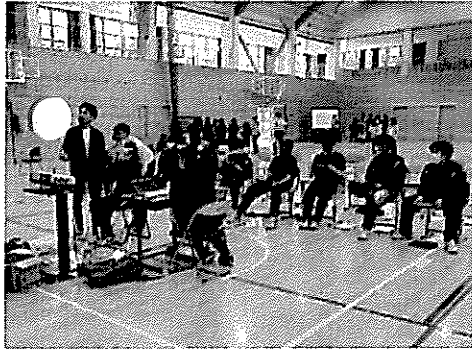
AI 音声・アニメを使用した新バージョンでの建設業冒頭説明後「台風19号被災ドキュメントDVD」を視聴、アニメを利用した「家康」の治水事業、江戸の町構築と現代の建設業をマッチングさせた土木建築の説明を行い生徒に分かり易い内容に企画、ケーブルテレビでもニュース放映で3回流す。



建設の仕事では災害時誰よりも先に現場に駆け付け地域を守り命を守る活動をしてることは全員知らない。現場で活躍する女性の姿を纏めたDVD視聴、続いて技術者・技能者等の職種説明を実施し第1部を終了。

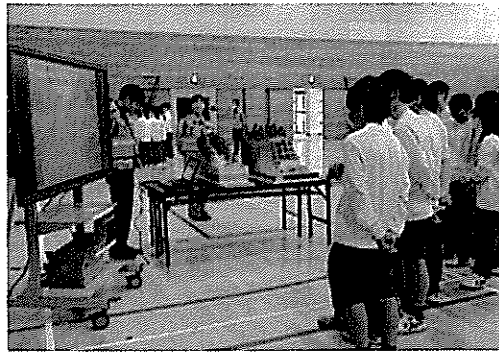
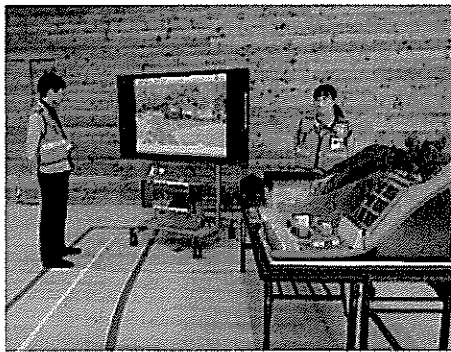
◆第2部（体験学習）各ブースを4組に分けそれぞれのブースにて体験学習を行う

① 360度カメラ体験

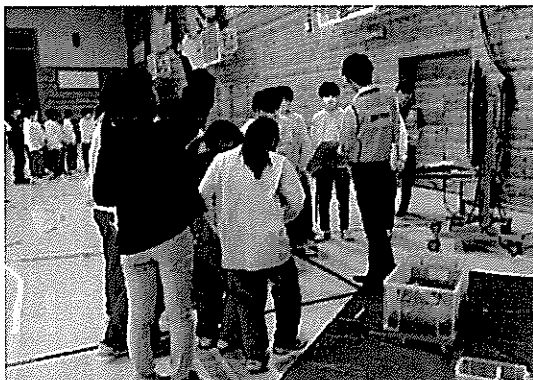


360度カメラで撮影した映像（無人化機械動画）をタブレットを利用して再現、メダリスト2を利用して視聴している生徒の内容が正面のスクリーンに映し出される、無人化機械等の視聴体験に建設業の技術進化に生徒、先生達は夢中で視聴体験する。

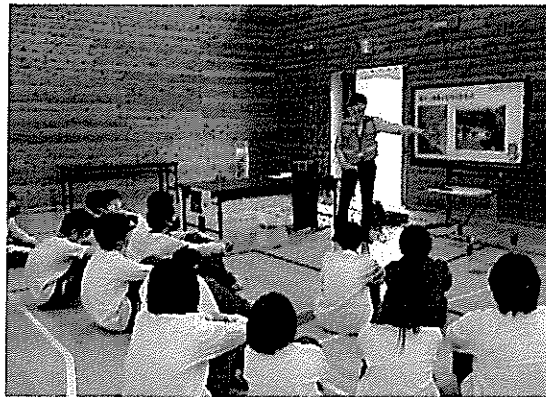
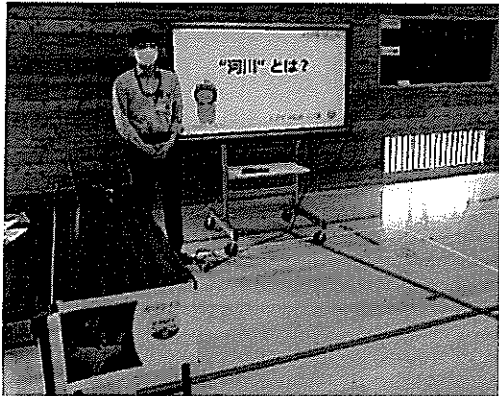
②土石流模型実験：がけ崩れ体験（北信建設事務所の方々による説明）



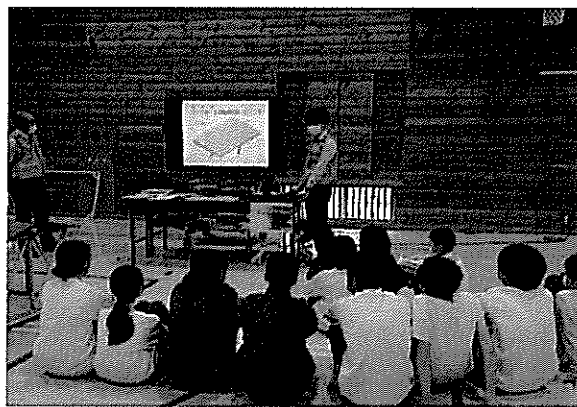
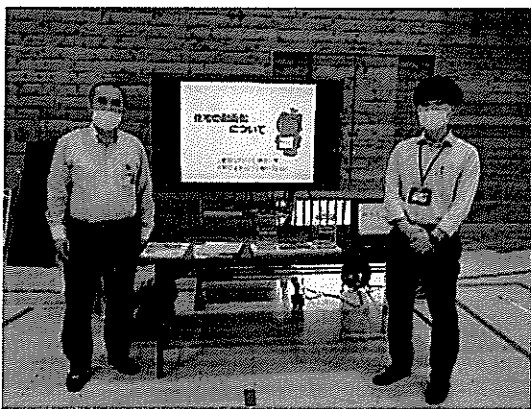
③液状化現象模型実験



④河川クイズ（長野県河川課の方々）



⑤耐震構造模型体験（北信建設事務所の方々）

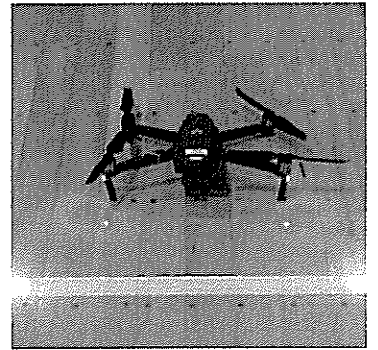
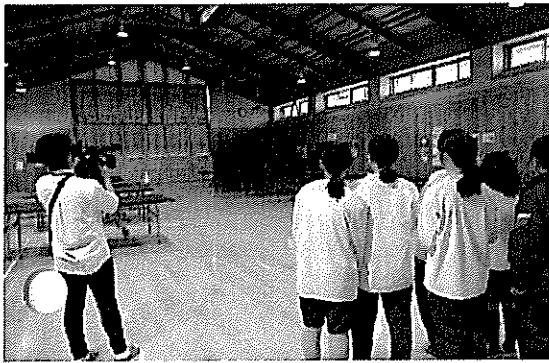
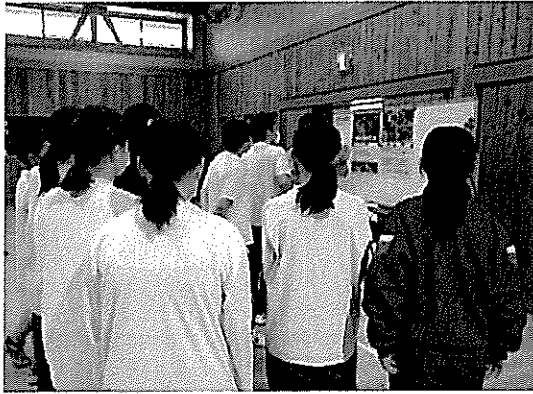


⑥除雪機械乗車体験（中高支部：下田支部長・青年部担当）

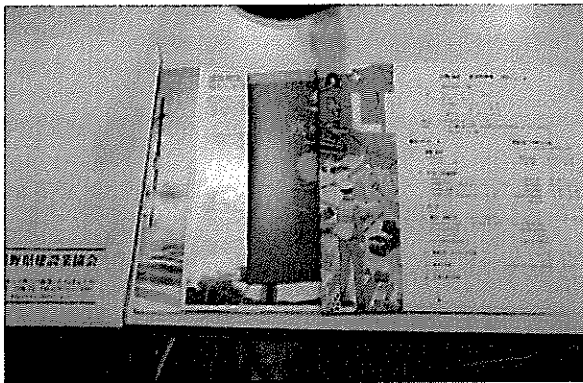


建設業の仕事で除雪も建設業の皆さんが実施している事も多くの生徒が知らない、実物の除雪機械乗車でタイヤドーザー、ロータリー除雪機は大きさに驚き、女性でも出来るDVD学習後の試乗体験に女生徒も興味を示し運転席で稼働する初体験に除雪作業を理解していただける。

③屋内研修 ドローン実演

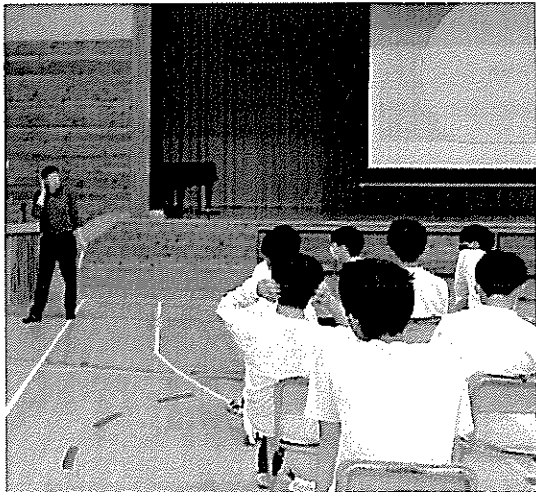


生徒、先生への配布資料



人集めのイベント事業でなく、まず建設業の役割、「地域の守りて」として活躍する姿、インフラ整備（土木・建築）、一般住宅、災害対応、除雪、多分野に渡り自分に見合う職業選択があり、地域の人命資産を守るなくてはならない仕事を先生、生徒に幅広く伝える重要性を「職場体験学習」を通じ感じる。また子供たちに人気のある建設カードも配布し、利用の仕方を説明。

◆武田副会長から質疑応答・アンケートの依頼



質疑応答で生徒とやり取りする！

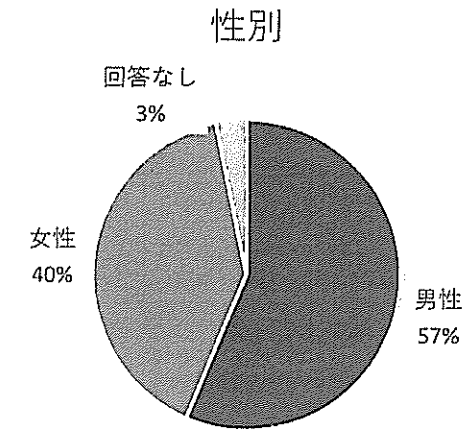
◆共催側代表で北信建設事務所 関 所長より終了挨拶



中学3校のアンケート結果より

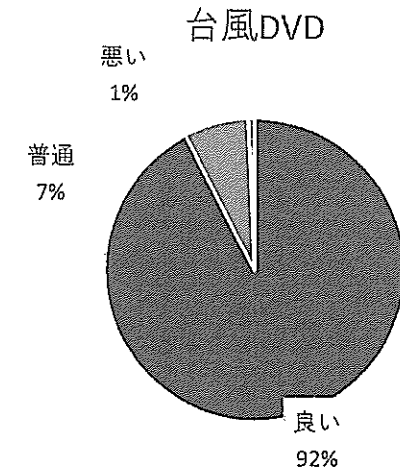
性別

	明科	高社	中野平	計
男性	21	27	40	88
女性	17	15	31	63
回答なし	0	3	2	5



台風DVD

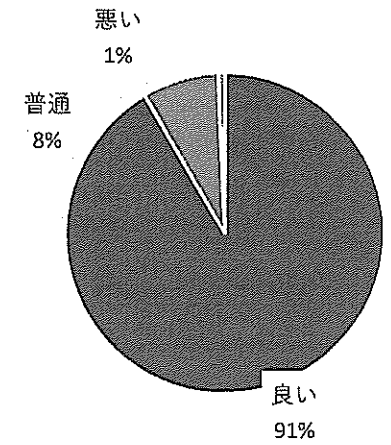
	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった	37	41	66	144
普通	1	3	7	11
良くなかった・悪かった	0	1	0	1



スライド+AI説明

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった	36	41	65	142
普通	1	3	8	12
良くなかった・悪かった	0	1	0	1

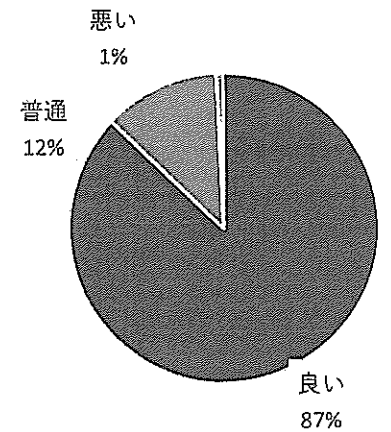
スライド+AI説明



女性DVD

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった	33	39	63	135
普通	4	5	10	19
良くなかった・悪かった	0	1	0	1

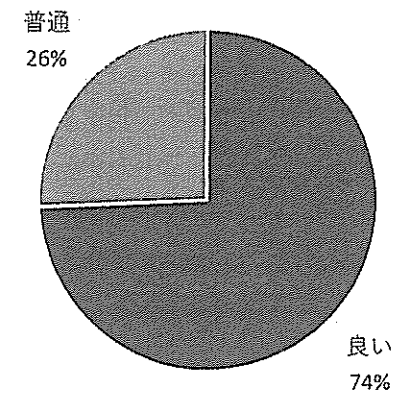
女性DVD



VR体験

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった	37	22	57	116
普通	1	23	16	40
良くなかった・悪かった	0	0	0	0

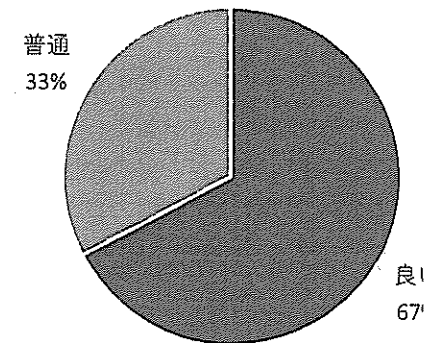
VR体験



土石流模型

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった	38	24	43	105
普通	0	21	30	51
良くなかった・悪かった	0	0	0	0

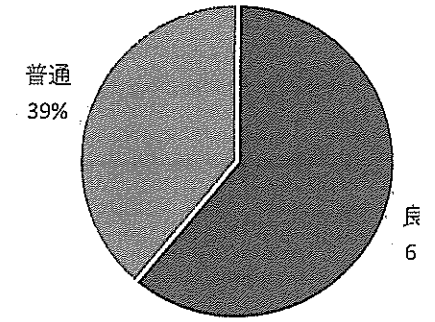
土石流模型



液状化現象模型

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった		24	48	72
普通		21	25	46
良くなかった・悪かった		0	0	0

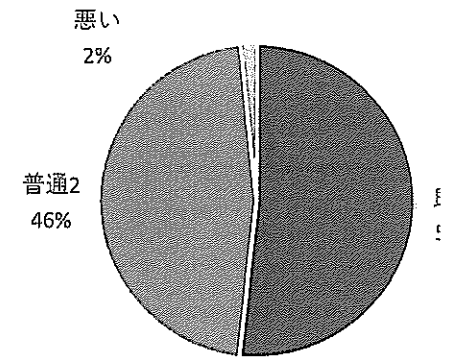
液状化現象模型



河川クイズ

	明科	高社	中野平	計
とても良かった・良かった		19	42	61
普通		25	30	55
良くなかった・悪かった		1	1	2

河川クイズ



●イメージ（体験前について抜き出し）

- 家を建てる
- 建物を建てる
- 疲れそう
- 大変そう
- 道路とか家を作ってる人
- 朝早くから夜中までずっと働いている
- 陰で頑張っている人たち
- みんなの役に立つ
- 地域の大黒柱で縁の下の力持ち
- 男性ばかりのイメージ
- 影から生活を支えてくれる
- 重労働
- 力仕事
- 大変そうだけど楽しそう
- ビルなどいろいろ作ってる
- トンカチをトントンやって家を建てているイメージ
- 事故が多い
- 機械をあまり使わず手作業で仕事をするイメージ
- 力仕事が得意な人がたくさんいるイメージ
- クレーン車など重機械が多そう
- とても危険
- 男性が多いイメージ
- ブラック

●感想

- 私たちの生活に必要不可欠なんだと思いました
- 人のための仕事 人を守る仕事だと思った
- Jobセミナーより前は、建物とか立てるのに技術も必要だし大変な仕事って感じがしたけど、今は色々な仕事があって、災害時にも活躍していると聞いて、大変だけどやりがいのあるカッコいい仕事だなと感じた。
- みんなで協力して地域の人たちを助ける勇者一行
- 建物とか作る仕事だと思ってたけど、体験をして山とか防災に深く関わっているのが新たにわかった
- 24時間寝ないで復旧作業をしてくれた人々にとても感謝したいしこの学習を通して大

- 変さを知ったのでそのような人々を見かけたら声をかけていきたいと思った
- あんまり詳しくなかったけど、自分たちの生活に関係しててありがたいと思った
 - 女性でも建築業をしている人もいるんだなと思った
 - 建設業に対する考えが変わりました。
 - 結構関心を持ちました。ありがとうございました。
 - 災害の時に、先に現場に行っていてすごいなと思いました。
 - 災害が起きた時に一番早くに行っているということを初めて知った
 - 建設業で働いている人がいなければ生活が大変になることを知れた
 - 建設業は、なきゃだめだなって思った
 - 建設業は何をやっているのか具体的にわかったし、生活になくってはならない職業だということがわかった。
 - 千曲川が氾濫した時一番先に現場に行っていて驚いたし危険なのにやっていてすごいなと思った
 - 災害が発生したら自衛隊より先に動いていることはじめて知った
 - 災害が起きた時一番先に災害の場に行くと言うことを初めて知った
 - 災害の時に一番早く現場に行っていると聞いてすごくびっくりした
 - 聞く前は建設業は力仕事というイメージだったが、復旧作業など見たり聞いていたら興味が湧いてきて、とても分かりやすかったです
 - 街を作る大切な仕事だなと思った
 - 建設業は家とか建物を建てる仕事と思っていたけど災害の復旧をしたり防止をしたりもして災害にも関わっていると知って驚きました
 - 除雪を建設業の人がやるということが初めて知った
 - 私はあまり建設業は就職する方が少ないイメージを持っていたがたくさんの人が協力して働いているということを知ってとても興味が湧いた
 - 今まで感じていたイメージとかなり離れていた
 - 建設業は普段気づかないけれど、生活に深く関わりがある。建設業の人は、災害が起こった時にいち早く現場へ向かったりしているというのを知らなかった
 - 建設業は男の人がやるというイメージがあったけれど、建設業で働く女性もいて、意識を変えたいと思った
 - 工事とか建物を建てること以外にも災害が起きた時には1番初めに来て色々やったりするということがわかった
 - 地域のために協力して働けることがすごいと思った
 - 少し建設業の仕事をしてみたいと思った。
 - 災害があったときに救助隊などよりも先に動いていることを知らなかったのもとてもありがたいと思ったし、イメージが180度変わりました
 - 少し建設業に携わりたいと思った

レポート：中学校での体験学習について

武田委員長（要約）

長い間の経験を通じて、建設業の担い手不足が続いている中、特に若年層の就職率向上を図るため、中学生向けの職場体験講習を実施しています。これにより、建設業に対する興味や関心を喚起しようと努力しています。初めはコロナ禍の中でどのような方法が効果的か、また建設業の魅力を伝える方法に試行錯誤がありました。DVD やスライド映像、冊子を通じて仕事や役割を説明し、360 度カメラ体験や技術者のインタビューなどを導入しました。通常の 2 時間の講習に加え、4 時間の講習も実施し、生徒たちの興味を引く工夫をしました。視聴覚講習と体験講習を組み合わせることで、生徒たちに飽きずに知識と体験を提供し、建設業への興味を引きました。さらに、360 度カメラ VR 体験や AI 機能を利用した新しいアプローチを導入し、より多くの子供たちに建設業の魅力を伝える努力を続けています。これで満足することなく、よりアップデートし、これからも「建設業の凄さと魅力」をより多くの子供達へ伝えられるように頑張ります。

酒井編集長（要約）

中学生への体験学習は、ひと昔前の「認知を広める」から、「認識をつくる／変える」ことが重要になっていると考え、つくってきました。参加者を集め、参加者が楽しむこと、場が盛り上がることを最重視するという従来の体験学習では意味がありません。建設業という仕事は、今でもまだ子どもたちやその親にとっては「きつい、危険な」仕事で、それを「地域を支え、守る仕事」「豊かな暮らしのために欠かせない仕事」「地域の人たちに貢献する仕事」というものへ認識を変えることが重要です。ただ「重機体験が面白かった！」というものでは、この認識の変更には辿り着きません。そうではなく「知らなかった！」という驚きで認識を変え、建設業への関心を高め、将来の仕事の一選択肢として捉えてくれるようにする。さらに子どもたちだけでなく、見ている先生方にも「これは授業で教えないといけないことだ」という伝わりかたをさせることで、次の体験学習へとつなげるという狙いもあります。

↓

参考：

若者が「貢献」を重視するのに、建設業がそういう仕事だという認識がない

リクルートマネジメントソリューションズ

今年の新入社員を対象に「仕事をするうえで重視したいこと」

- 1位：成長（自分が成長できる） 28.8%
- 2位：貢献（人や社会の役に立つ、感謝される） 26.7%
- 3位：やりがい（やることの意味や意義が強く感じられる） 20.8%

↓

ウィルオブ・コンストラクション

今年、入社3年目までの若手社員に聞いた「建設業で働こうと思ったきっかけ」

- 1位：「手に職を付けたいから」 38.0%
- 2位：「色々なスキルを身に付けられて、自己成長につながると感じたから」 24.5%
- 3位：「モノづくりやスケールの大きい仕事に興味があったから」 24.0%

↓

ワースト5位：「社会に貢献できる仕事に就きたいと思ったから」 16.0%

↓

=建設業が「貢献」できる仕事だと思われていない。

なぜなら、同調査では「建設業で働いていて良かったこと」も聞いているが、そこでは「社会に貢献できていると感じる」が20.0%で入っている。

（「きっかけ」時よりポイントが上がっている=入ってから貢献できる仕事だと気付いた）

↓

中学校での体験学習のアンケートで、体験する前の「イメージ」と、体験後の「感想」の変化が重要。